I-O DATA

# 管理マニュアル

LAN DISK

HDL-ZWEI シリーズ

すぐ取り出せる場所に保管してください



B-MANU202294-02

# もくじ

**注意事項など**

本製品を使う上で、お守りいただきたいご注意です。必ずお読みください。

## 使う前に



**初期設定**

本製品の設置・導入方法です。

## 導入する



**詳細設定**

新機能やその他の設定です。初期設定の後に必要に応じてご確認ください。

## その他の設定



**故障時の対応・資料**

故障時の対応や、その他本製品の資料情報です。必要に応じてご確認ください。

## 故障時の対応



## 資料

# 安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。 |
| ⚠警告 | この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。 |
| ⚠注意 | この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。 |

## ⚠ 危険

**本製品を修理・改造・分解しない**

火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

## ⚠ 警告

**雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない**

感電の原因になります。

**AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない**

水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
・万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

**本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**

火災の原因になります。

**決められた電源で使用する**

所定以外の電源で、本製品を使用すると火災・感電の原因になります。

**故障や異常のまま、つながない**

本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

**本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って飲み込み、窒息や胃などのへ障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

**本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう**

電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

**煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める**

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

## ⚠ 警告 ●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

**AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない**

電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

**AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない**

発火、発熱のおそれがあります。

**熱器具のそばに配線しない**

電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

**電源コードや AC アダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない**

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線 ( 電気の流れるところ ) が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

**ゆるいコンセントにつながない**

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

**電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない**

電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電の原因になります。

**添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない**

発火や感電の原因になります。
添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

**コンセントまわりは定期的に掃除する**

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

**煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く**

そのまま使うと発火・感電の原因になります。

**じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない**

発火の原因になります。

**テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない**

テーブルタップの定格容量 (1500W などの記載 ) を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

## ⚠ 注意

**本製品を踏まない**

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

**人が通行するような場所に配線しない**

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

**取り付け、取り外しの際は手袋をつける**

ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをするおそれがあります。

# 使用上のご注意

使う前に
導入する
その他の設定
故障時の対応
資料

## ≪重要≫データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。
本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

**バックアップとは**
本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

## 最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

## 本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

- ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

- NarSuSに登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

## その他のご注意

- 動作中に本製品や外付 HDD の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。
  ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
- 動作確認済み以外のソフトウェアは、インストール（利用）しないでください。
  本製品の安定運用に影響を及ぼすおそれがあります。
  動作確認済みのソフトウェアは以下の弊社ホームページをご確認ください。
  http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_soft.htm
- 本製品を以下のような機能を設定して、利用することはできません。
  ・ファイアウォール、VPN、Web キャッシュの役割
  ・メールサーバー
  ・認証サーバー（ドメインコントローラー等）
  ・ネットワーク・インフラストラクチャ・サービス（Web サーバー等）
- 本製品は「休止」「スリープ」には対応しておりません。

## お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
- 市販のクリーニングキットは使わない。

# 添付品を確認する

☐ AC アダプター（1 個）　☐ 電源コード（1 本）　☐ LAN ケーブル（2 本）
☐ ロックキー（2 個）　☐ サポート DVD（1 枚）　☑ 管理マニュアル（本書）

**ユーザー登録はこちら…https://ioportal.iodata.jp/**
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

# 動作環境

## 設定に必要な環境

本製品の設定を行うには、以下のどちらかの環境が必要です。

環境①　Windows リモートデスクトップ接続可能なパソコン
（Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vista）

環境②　HDMI コネクターを搭載したパソコン用ディスプレイ、USB 接続のキーボード、USB 接続のマウス（環境①が無い場合）

**ご注意**

●本製品および別売オプション HDD 以外のご利用はサポート対応外となります。
●本製品の設定には、Windows のリモートデスクトップ機能を利用しています。Mac OS など他のパソコンからの設定はおこなえません。上記「本製品の設定に必要な環境」の「環境②」をご用意ください。
●本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウイルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB 接続した HDD などへのバックアップしてください。

## 対応外付 HDD

以下の弊社ホームページをご確認ください。

**http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm**

**ご注意**

●外付 HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこないます。

## 対応 UPS

以下の弊社ホームページをご確認ください。

**http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm**

※ USB 3.0 ポートは対応しておりません。USB 2.0 ポートに接続してご利用ください。

# オプション HDD

## 弊社製 HDLZ-OPR シリーズ

※詳細な情報は、以下の弊社ホームページをご確認ください。

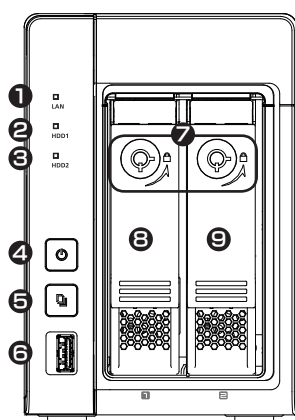
**http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm**

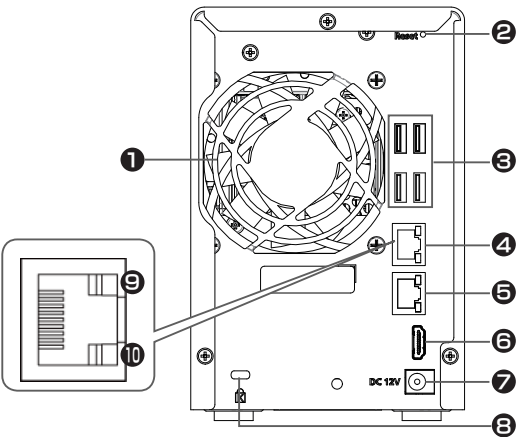
**ご注意**

●オプション HDD には、システムはインストールされていません。

●本製品の容量を後から増やすことはできません。

# 各部の名称・機能

## 前面

| 名称 | 状態 | 説明 |
|---|---|---|
| ❶ LAN ランプ | 橙点滅 | LAN1/LAN2 アクセス時 |
| | 消灯 | LAN1/LAN2 未接続時 |
| ❷ HDD1 ランプ<br>❸ HDD2 ランプ | 緑点灯 | HDD 正常認識時 |
| | 緑点滅 | HDD アクセス時 |
| | 赤点灯 | HDD エラー時 |
| | 消灯 | HDD 未接続時 |
| ❹電源ボタン<br>STATUS ランプ | | 短押し（1 秒程度）→本製品の電源を ON/OFF します。<br>※電源 ON の状態で 3 秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。<br>3 秒以上電源ボタンを押し続けないでください。<br>また、本製品の状態を示します。<br>詳しくは、【ランプの状態】（39 ページ）をご覧ください。 |
| ❺ Func ボタン<br>USB ランプ | ボタン | ３秒以上押すとあらかじめ登録したプログラムを実行できます。また、エラー発生時にブザーが鳴りつづけている時、２秒以内押すとブザーを停止します。 |
| | 青点灯 | USB 機器認識時 |
| | 消灯 | USB 機器未接続時 |
| ❻ USB 3.0 ポート | | 増設用 USB ポートです。 |
| ❼カートリッジ固定ロック | | カートリッジをロック / アンロックします。 |
| ❽ HDD1<br>❾ HDD2 | | カートリッジを接続します。<br>脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。 |

# 背面

| 名称 | | 機能 |
|---|---|---|
| ❶ファン | | 冷却用ファンです。ふさがないでください。 |
| ❷ Reset スイッチ | | 使用しません。 |
| ❸ USB 2.0 ポート | | 外付 HDD などを接続します。 |
| ❹ LAN ポート１ | | 添付の LAN ケーブルを接続します。 |
| ❺ LAN ポート２ | | 添付の LAN ケーブルを接続します。 |
| ❻ HDMI コネクター | | ディスプレイを接続できます。 |
| ❼ DC-IN | | 添付の AC アダプターを接続します。 |
| ❽セキュリティスロット | | 盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。 |
| ❾ ACT/LINK ランプ | 橙点灯 | LINK 中 |
| | 橙点滅 | データを送受信中 |
| | 消灯 | 未接続 |
| ❿ 1000/100/10 ランプ | 緑点灯 | 1000BASE-T で接続中 |
| | 赤点灯 | 100BASE-TX で接続中 |
| | 消灯 | 未接続、または 10BASE-T で接続中 |

# 初期設定

## 設定方法を選ぶ

本製品の設定は、Windows のリモートデスクトップを使用します。
また、DHCP サーバーの有無により手順が異なります。
ご利用の環境をご確認の上、該当する手順をご覧ください。

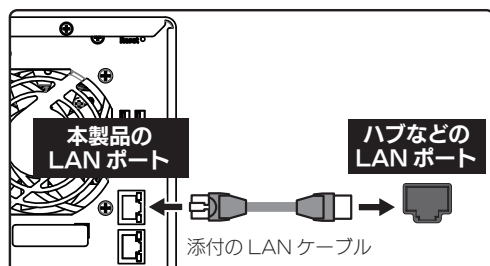
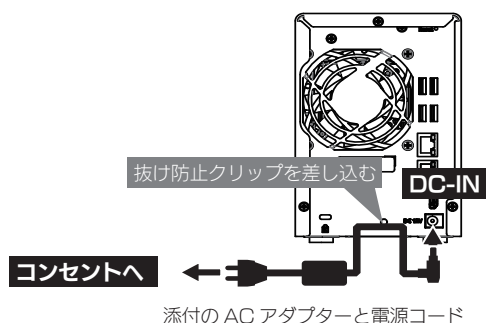
Windows Vista 以降のパソコンと DHCP サーバーがある場合
【設定方法①】（12 ページ）

Windows Vista 以降のパソコンがあり、DHCP サーバーがない場合
【設定方法②】（14 ページ）

ネットワークを利用せずにセットアップする場合
【設定方法③】（17 ページ）

## 設定方法①

ネットワーク上に、Windows Vista 以降のパソコンと DHCP サーバーがある場合の設定手順です。

### 1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ

### 2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

※ケーブルフックに引っかけます。

### 3 前面の電源ボタンを押す

**ご注意**

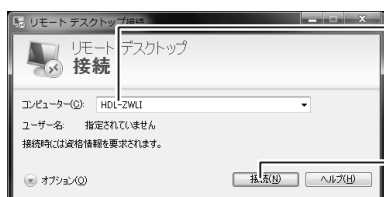
●動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】（24 ページ）をご覧ください。

●必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

## 4 [ リモートデスクトップ接続 ] を起動する

**[ リモートデスクトップ接続 ] の起動方法**

- Windows 10 の場合
  [ スタート ] → [ すべてのアプリ ] → [Windows アクセサリ ] → [ リモートデスクトップ接続 ] をクリック
- Windows 8 の場合
  [ スタート ] → [ リモートデスクトップ接続 ] をクリック
- Windows 7、Vista の場合
  [ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [ アクセサリ ] → [ リモートデスクトップ接続 ] をクリック

## 5

①コンピューター名を入力

**コンピューター名について**
出荷時設定では、HDL-ZWEI を入力します。

② [ 接続 ] をクリック

**接続できない場合**
【設定方法③】（17 ページ）をお試しください。

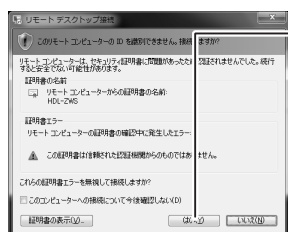
## 6 ログオン画面で、[ 別のアカウントを使用 ] を選択

## 7

①次を入力
ユーザー名：Administrator
パスワード：admin

② [OK] をクリック

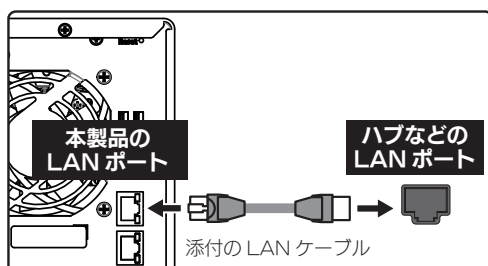
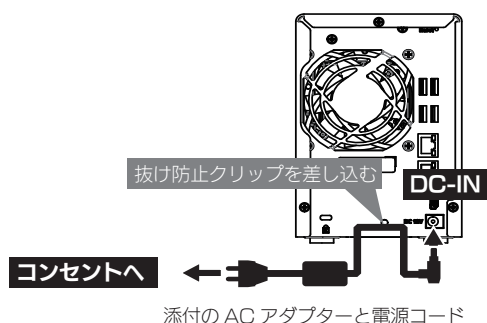
**補足事項**
- 出荷時パスワードは「admin」です。
  Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

**以下のような画面が表示された場合**

[ はい ] をクリック

ログオンに成功すると、初期画面が開きます。この画面から設定をおこないます。
次に【NarSuS に登録する】（19 ページ）へお進みください。

## 設定方法②

ネットワーク上に、Windows Vista 以降のパソコンがあり、DHCP サーバーがない場合の設定手順です。

### 1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ

### 2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

※ケーブルフックに引っかけます。

### 3 前面の電源ボタンを押す

**ご注意**

- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】(24 ページ) をご覧ください。
- 必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

### 4 設定用パソコンの現在の IP アドレスを確認し、メモする

※後で、現在の IP アドレスに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。

## 5 設定用パソコンの IP アドレスを [IP アドレスを自動的に取得する ] に設定する

## 6 [ リモートデスクトップ接続 ] を起動する

**[ リモートデスクトップ接続 ] の起動方法**

● Windows 10 の場合
[ スタート ] → [ すべてのアプリ ] → [Windows アクセサリ ] → [ リモートデスクトップ接続 ] をクリック

● Windows 8 の場合
[ スタート ] → [ リモートデスクトップ接続 ] をクリック

● Windows 7、Vista の場合
[ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [ アクセサリ ] → [ リモートデスクトップ接続 ] をクリック

## 7

**コンピューター名について**
出荷時設定では、HDL-ZWEI を入力します。

**接続できない場合**
【設定方法③】（17 ページ）をお試しください。

## 8 ログオン画面で、[ 別のアカウントを使用 ] を選択

## 9

**補足事項**
●出荷時パスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

**以下のような画面が表示された場合**

## 10 本製品の IP アドレスを手順４でメモした IP アドレスを参考にネットワークに適した値に変更する

## 11 いったんリモートデスクトップ画面を閉じる

※ IP アドレスを変更したため、通信できなくなります。

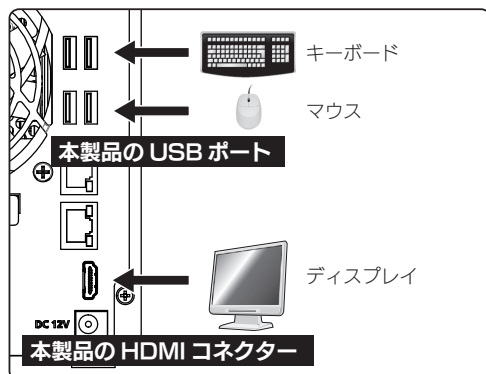
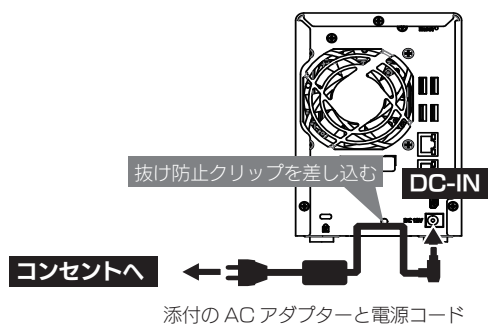
## 12 設定用パソコンの IP アドレスを元に戻す

次に【NarSuS に登録する】（19 ページ）へお進みください。

## 設定方法③

ネットワークを利用せずにセットアップをおこなう場合の設定方法です。



**1** ① HDMI コネクターにディスプレイをつなぐ
② USB ポートにキーボード、マウスをつなぐ

**2** 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ
※ケーブルフックに引っかけます。

添付の AC アダプターと電源コード

**3** 前面の電源ボタンを押す

**ご注意**

●動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】（24 ページ）をご覧ください。

キーボードの
[Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押す

① [admin] を入力

② [ → ] をクリック

**補足事項**
●出荷時パスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

ログオンに成功すると、初期画面が開きます。この画面から設定をおこないます。
次に【NarSuS に登録する】（19 ページ）へお進みください。

# NarSuS に登録する

## NarSuS（ナーサス）とは?

NarSuS は、24 時間 365 日、あなたの NAS を見守る安心サービスです。NAS にトラブルが発生したら、自動的に NarSuS データセンターに状態が送信されます。
NarSuS データセンターは、それを受けてユーザーにメールでトラブルをお知らせします。画面に表示される対処方法にしたがって作業すればトラブル対策ができます。

●問題が発生したら、メールでお知らせ。わかりやすい管理画面で、設置した NAS の状態を一括管理できます。
●万一のトラブル時は、対処方法を管理画面で確認できます。あわてずに適切な対処ができます。
● RAID の状態やシステム情報、NAS の温度や利用容量などをログやグラフで表示できます。

**セキュリティへの配慮**

●通信は NAS から NarSuS データセンターへの一方通行であり、NarSuS データセンターから NAS に接続しません。NAS から送信するデータは NAS の稼働情報であり、NAS 内のユーザーデータは一切送信しません。
● NarSuS の通信経路は HTTPS を使って暗号化されています。
● データセンターは国内のデータセンター専用施設に設置されており、情報セキュリティに十分な配慮をおこなっています。

**ご注意**

●本機能を利用するためには、常時ネットワークに接続しておく必要があります。
●本機能は、IPv4 ネットワークでのみ使用できます。
●インターネットエクスプローラーでご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [ インターネットオプション ] → [ セキュリティ ] から [ 信頼済みサイト ] に登録しておいてください。

**1** ※本製品へのログオンに成功したら、以下のような画面が表示されます。

● NarSuS に LAN DISK を登録したことがない場合
[NarSuS にはじめて登録（無料）] をクリック

●すでに他の LAN DISK を登録している場合
[NarSuS に製品を追加登録] をクリック

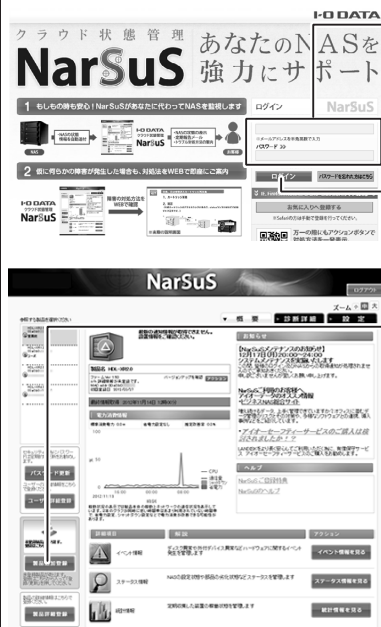
※ NarSuS 登録をしてから、本製品の設定をおこなってください。

**2**

[NarSuS 登録画面を開く ] をクリック

**[ プロキシサーバー設定 ]**
インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

**インターネットに接続できない場合**
【インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する】（22 ページ）をご覧ください。

**追加で登録する場合**

①登録済みの [ID]、[ パスワード ] を入力

② [ ログイン ] をクリック

③画面左下の [ 製品追加登録 ] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

**3** 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

**4** 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。
以上で NarSuS 登録は完了です。

## ご注意

●登録に失敗した場合、以下をご確認ください。

- 本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること（LAN ケーブルが正しく接続されていること）
- プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
- 本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
- お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。



### NarSuS へのログイン方法

方法 1　以下 URL にアクセスしてください。
**https://www.narsus.jp/**

方法 2　①タスクトレイのアイコンをクリック

② NarSuS 設定画面右上の
[NarSuS ログイン ] ボタンをクリック

### NarSuS 設定画面

※アップデート時に再起動する場合があります。ご注意ください。

<table>
<tr><td>NarSuS 設定</td><td colspan="2">プロキシの設定が必要な場合、[プロキシサーバー] にチェックをつけ、プロキシサーバーの[アドレス] と[ポート] を入力します。<br>※設定内容については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アップデート設定</td><td>自動アップデート設定</td><td>本NarSuSアプリや、NarSuSのイベント通知の定義ファイルが更新された場合の、自動アップデートについて設定します。<br>自動アップデートする場合は、実行する曜日、時刻を設定できます。<br>※出荷時には、自動アップデートは有効になっています。</td></tr>
<tr><td>プログラム手動更新</td><td>クリックすると、本NarSuSアプリを更新します。</td></tr>
<tr><td>定義ファイル手動更新</td><td>クリックすると、NarSuSのイベント通知の定義ファイルを更新します。</td></tr>
</table>

**利用コードの確認**

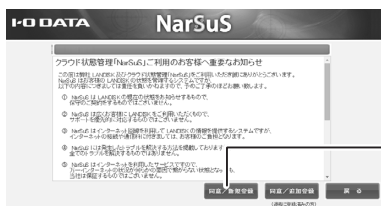
設定によっては、利用コードを求められます。
NarSuS の Web ページにログインし、本製品を選んだ後、［製品詳細登録］をクリックして、利用コードを確認してください。

### NarSuS の利用方法

NarSuS へログイン後、
[NarSuS のヘルプ ] をクリック

## インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する

**1** インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする
**https://www.narsus.jp/user-reg**

**2**

内容を確認し、
[ 同意 / 新規登録 ] をクリック

**追加で登録する場合**

① [ 同意 / 追加登録 ] をクリック

②登録済みの [ID]、[ パスワード ] を入力

③ [ ログイン ] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

**3** 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

**4**

登録完了画面に表示された
「ご利用コード」をメモする

※登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

**5** 本製品にログオンする

以上で NarSuS 登録は完了です。

使う前に
導入する
その他の設定
故障時の対応
資料

# 電源を切る場合

本製品の電源を切る場合は、必ず以下のいずれかの手順にしたがってください。

**ご注意**

- ●外付 HDD やプリンターがある場合は、本製品の電源を切ってから、外付 HDD やプリンターの電源を切ってください。
- ●ファイルコピー中に本製品や外付 HDD の電源を切るとコピーの処理が正常におこなわれません。本製品や外付 HDD のアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
- ●本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
- ●本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
- ●長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

## 本製品の電源ボタンでシャットダウンする場合

本製品前面の電源ボタンを短押し（1 秒程度）します。
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

**ご注意**

- ●電源ボタンを長押し ( 3秒以上 ) しないようご注意ください。3 秒以上押した場合、強制電源断状態となり製品再起動後に RAID リビルドが発生する場合があります。
- ●本製品がロック状態になっていると、電源ボタンを押してもシャットダウンできない場合があります。その場合は、USB キーボードでロックを解除してから電源ボタンを押してください。

前面の電源ボタンを押す

## Windows のリモートデスクトップにてシャットダウンする場合

[ Alt ] + [ F4 ] を押し、表示された画面で [ シャットダウン ] を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

**機能について詳しくはヘルプをご覧ください**
本書に記載のない機能など詳しくは、[ スタート ] → [ ヘルプとサポート ] をご覧ください。

# RAID 設定

## 本製品で設定できる RAID モード

| | |
|---|---|
| RAID 1（出荷時設定） | すべてのハードディスクに同じデータを同時に書き込むため、万一、一方のハードディスクが故障してもデータは安全に保護されます。 |
| RAID 0 | すべてのハードディスクを 1 つのボリュームとして認識します。<br>データ保護機能はありませんが、大容量と高速性を追求したモードです。 |

## RAID モードを変更する

**ご注意**

- ●作業前に、データをバックアップしてください。RAID モード変更時にデータは消去されます。
- ●本製品のシステム領域の RAID モードは変更できません。

出荷時インストール済みの「ZWS Manager」で設定します。
「ZWS Manager」については、【ZWS Manager】（41 ページ）をご覧ください。

**1** タスクトレイのアイコンから [ZWS Manager] を起動する

**2**

① [RAID ステータス ] をクリック
② [DATA] をクリック
③変更する RAID モードを選ぶ
④ [RAID モード変更 ] をクリック

選択した [RAID モード ] への変更を開始ます。([ 状態 ] が再構築中になります。)
※ RAID 1 へ構築した場合、1TB HDD 搭載モデルで約 3 時間かかります。

これで RAID モードの変更は完了です。

# マルチディスク

マルチディスクは、ハードディスクを個々で認識し、複数のハードディスクとして使用できます。

**ご注意**

- RAID モードからマルチディスクモード、または、マルチディスクモードから RAID モードに変更する際には、以下にご注意ください。
  - ・すべての保存されていたデータ、設定情報が消去されます。必要なデータや設定情報は、必ずバックアップしてから切り替えてください。
  - ・Windows システムのみ復元します。他のアプリケーション類は復元しません。

## ステップ 1　準備する

**1** 次の機材を用意する
ディスプレイ、USB キーボード、USB 接続の DVD ドライブ(USB 2.0 対応のもの)、本製品添付のサポート DVD

**2** 本製品の HDMI コネクターにディスプレイをつなぐ

**3** 本製品の USB ポートに USB キーボードをつなぐ

**4** 本製品の USB ポートに USB 接続の DVD ドライブを接続します。
※上記以外の機器は接続しないでください。

次に以下の【ステップ2】へお進みください。

## ステップ 2　マルチディスクに設定する

**1** DVD ドライブにサポート DVD をセットし、本製品の電源を入れる
リカバリープログラムが起動し、使用許諾が表示されます。

**リカバリープログラムが起動しない場合**

- BIOS 設定の変更が必要な場合があります。
  以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
  ①本製品の電源投入直後より、[F2] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する
  ②カーソルキーで [ 起動 ] を選ぶ
  ③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
  ④ [USB CD/DVD:xxxx] を選び、Enter キーを押す
  (xxxx は DVD ドライブのメーカー名とモデル名 )
  ※ USB ドライブの起動優先順位を最も高く設定します。
  以上で BIOS 設定は変更されました。ステップ 2 手順 1 より再度実行してください。

**2** キーボードの 2 を入力し [Enter] キーを押す
(「2 - マルチディスクモードでリカバリー」を選択します。)
※その他の選択については、【システムリカバリーする】(37 ページ)をご覧ください。

**3** 「本当にリカバリーを実行してよろしいですか? (yes/no)」で、[yes]と入力して、[Enter] キーを押す

リカバリーが開始されます。システムのリカバリーには 15 分〜 30 分程度必要です。

「リカバリーが正常に完了しました。サポート DVD を抜いてください。
何かキーを押すと再起動します。」と表示されたら、システムリカバリーは完了です。
サポート DVD を本製品から取り外し、何かキーを押します。
再起動完了後、本製品はマルチディスクモードとなっています。

次に以下の【ステップ3】へお進みください。

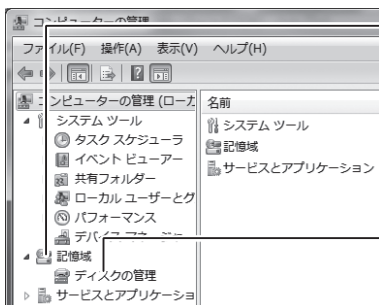
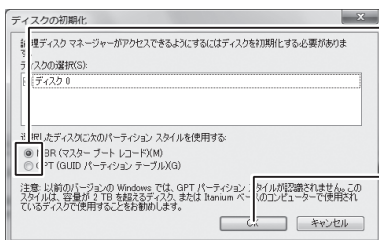
## ステップ 3　ハードディスクを初期化する

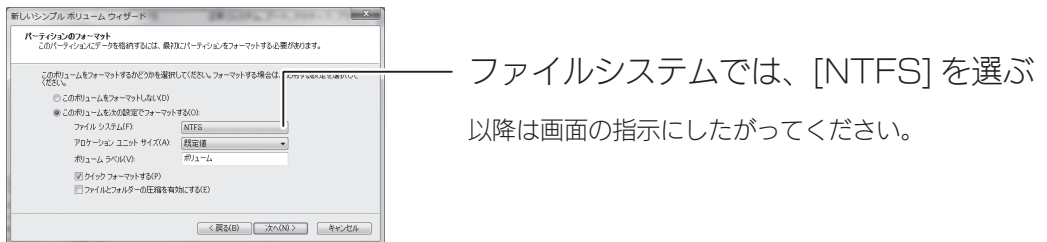
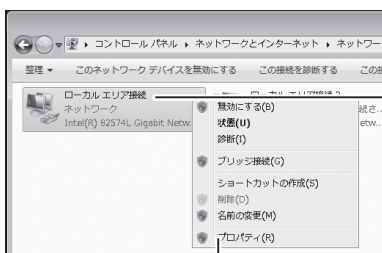
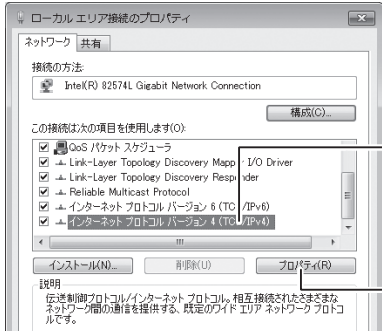
マルチディスクモードの起動直後は、次のようなディスク構成となっています。

| HDD1 | 起動用パーティション | システムパーティション | データパーティション |
|---|---|---|---|
| HDD2 | データパーティション | | |

※起動用パーティションが HDD 1 になった場合の例

**1** [ スタート ] をクリックし、[ コンピューター ] を右クリックして、[ 管理 ] をクリック

**2**

**3**

**4**

**5** シンプルボリュームウィザードが表示されるため、画面の指示にしたがって進める。

すべてのドライブの未割り当て領域を NTFS フォーマットすると、それぞれのドライブを独立して管理できるようになります。

# IP アドレス設定



**1** [ スタート ] → [ コントロールパネル ] をクリックし、[ ネットワークとインターネット ] を開く

**2**

[ ネットワークと共有センター ] をクリック

**3**

[ アダプターの設定の変更 ] をクリック

**4**

①設定する LAN アダプターを右クリック

※対応する LAN ポートは、上が1、下が2 となります。

② [ プロパティ ] をクリック

**5**

① [ インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選ぶ

② [ プロパティ ] をクリック

**6**

① IP アドレスを設定

② [OK] をクリック

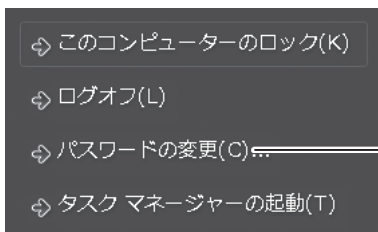
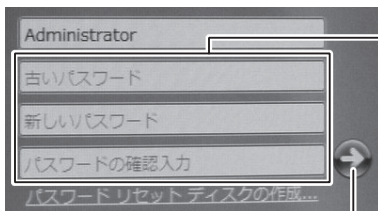
以上で、設定は完了です。

# パスワード変更

セキュリティのため、管理者パスワードは出荷時設定から変更することをおすすめします。

1 Administorator でログオンする

2 ●リモートデスクトップ接続の場合
キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[End] キーを押す

●本製品にキーボード等を接続しているの場合
キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押す

3
4
**出荷時設定**
出荷時のパスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。

以上で、設定は完了です。

# メール設定

「ZWS Manager」で設定します。
「ZWS Manager」については、【ZWS Manager】(41 ページ)をご覧ください。

**1** タスクトレイのアイコンから [ZWS Manager] を起動する

**2**

[ メール設定 ] をクリック

**3**

① [ 有効 ] を選ぶ

②設定する

※以下の【メール設定項目】をご覧ください。

③ [ 設定 ] をクリック

### メール設定項目

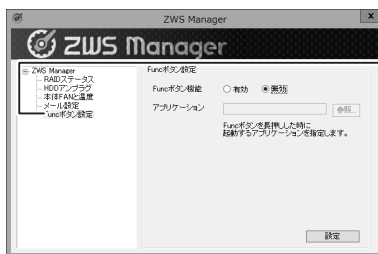
| 項目 | 説明 |
|---|---|
| SMTP サーバー | SMTP サーバーを入力します。 |
| SMTP サーバーポート番号 | SMTP サーバーポート番号を入力します。 |
| メール差出人アドレス | 差出人として表示するメールアドレスを入力します。 |
| 認証方式 | 認証方式を選択します。 |
| 認証 POP サーバー名 | 選択した [ 認証方式 ] に応じた認証 POP サーバー名を入力します。 |
| ユーザー名 | 選択した [ 認証方式 ] に応じたユーザー名を入力します。 |
| パスワード | 選択した [ 認証方式 ] に応じたパスワードを入力します。 |
| メール送信先アドレス | 送信先のメールアドレスを入力します。<br>複数のアドレスを設定したい場合はセミコロン“ ; ”で区切ってください。<br>(最大 512 文字) |
| エンコード | エンコード方式を [ISO-2022-JP] か [UTF-8] から選択します。 |

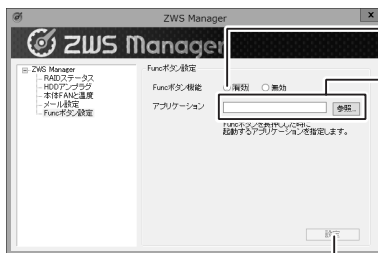
以上で、設定は完了です。

# Func ボタン設定

「ZWS Manager」で設定します。
「ZWS Manager」については、【ZWS Manager】(41 ページ) をご覧ください。

**1** タスクトレイのアイコンから [ZWS Manager] を起動する

**2**

[Func ボタン設定 ] をクリック

**3**

①[ 有効 ] を選ぶ

②設定する

※ Func ボタンに登録できるアプリケーションは、管理者権限を必要としないコマンドラインプログラムのみとなります。
また、実行時に管理者権限を必要とする処理（フォルダーへのアクセス等）をおこなうプログラムも正常に動作しません。

③[ 設定 ] をクリック

以上で、設定は完了です。

# カートリッジの交換方法

本製品の電源が入っている状態で、HDD アンプラグをおこなうと、故障したカートリッジを交換できます。
対応カートリッジは、【オプション HDD】（8 ページ）をご確認ください。

**ご注意**

- RAID 崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。
- カートリッジ（HDD）は、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 崩壊しすべてのデータを失い、修復不能な状態になる場合があります。
- 一度に取り外しできるカートリッジは、1 台のみです。
  2 台以上を取り外すと RAID 崩壊し、保存されているデータを失うことがあります。
- マルチディスクの場合、ZWS Manager ではアンプラグできません。
  タスクトレイの取り外しアイコンから取り外すか、本製品の電源を切ってから交換してください。
  （【[ ステップ 2] カートリッジを外す】（35 ページ）参照）

## 故障と思ったら…

故障したカートリッジの HDD ランプは赤点灯します。
本製品の HDD ランプをご確認の上、次ページ以降の手順をご確認ください。

### ▼故障の状態と対処

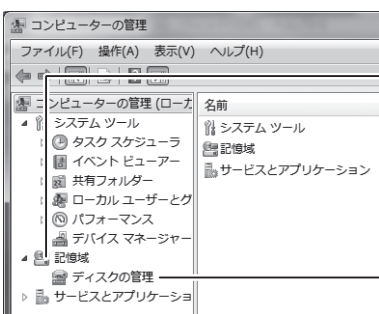
その他の状態については、【ランプの状態】（39 ページ）をご覧ください。

| STATUS | HDD | ブザー※ | 動作内容 | 対処 |
|---|---|---|---|---|
| 赤点滅 | 該当 HDD 赤点灯 | ピッピッ、ピッピッ … | デグレード発生時 | 至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 |
| 赤点滅 | 全 HDD 赤点灯 | ピーポー、ピーポー … | RAID 崩壊時 | 至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。 |

※ RAID に変化があったときにブザーが鳴ります。
ブザーが鳴った場合、Func ボタンを押すか、ZWS Manager で [ ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

使う前に
導入する
その他の設定
故障時の対応
資料

## [ ステップ 1]HDD アンプラグ

**1** タスクトレイのアイコンから、ZWS Manager を起動する

**2** [HDD アンプラグ ] をクリック

**3**

①故障した HDD を選択
※故障した HDD は、HDD ランプが赤点灯します。

② [ アンプラグ ] をクリック

**「アンプラグに失敗しました」と表示された**
[ アンプラグ ] 処理ができていません。
本製品の電源を切り、【[ ステップ 2] カートリッジを外す】（35 ページ）にお進みください。

**4** スタートボタンをクリックして、［コンピューター］を右クリックし、［管理］をクリック

**5**

① [ 記憶域 ] をクリック

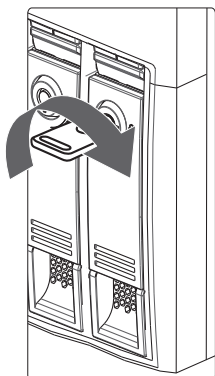
② [ ディスクの管理 ] をクリック

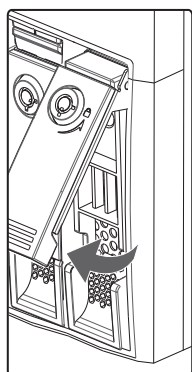
**6**

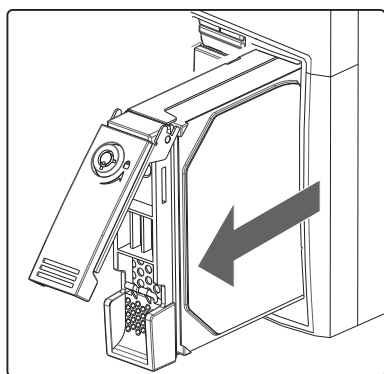
アンプラグしたディスクがオフラインになっていることを確認

次に、故障したカートリッジを外します。次ページへお進みください。

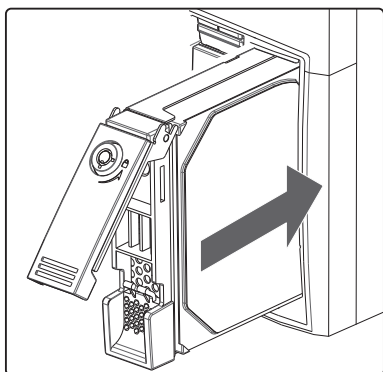
## [ ステップ 2] カートリッジを外す

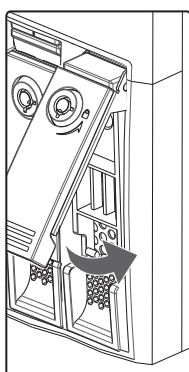
**1**

添付のロックキーを [ カートリッジ固定ロック ] に合わせ横向きに挿し、時計回りにまわして、[UNLOCK] にする
※ロックキーは、縦向きになります。

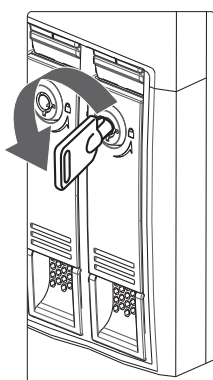
**2**

取り外すカートリッジの着脱レバーを開く

**3**

カートリッジを手前に引いて、取り出す

## [ ステップ3] カートリッジを取り付ける

1

カートリッジをスロットの奥まで挿入する

2

" カチッ " と音が鳴るまで、着脱レバーをおろす

3

添付のロックキーを [ カートリッジ固定ロック ] に合わせ縦向きに挿し、反時計回りにまわして、[LOCK] にする
※ロックキーは、横向きになります。

以上で交換は終了です。

取り付け完了後、ZWS Manager の [ 自動再構成 ] が [ 有効 ] に設定されている場合は、自動的に RAID の再構築を開始します。マルチディスクモード時は、交換したHDD を初期化する必要があります。(【ステップ３　ハードディスクを初期化する】（27 ページ）参照)

# システムリカバリーする

**ご注意**

●システムリカバリーをおこなうと、選択したモードによっては、本製品のシステムドライブ（C:）およびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。
●システムリカバリー後、システム領域および選択したモードによってはデータ領域の再構築がおこなわれます。
●システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。

使う前に
導入する
その他の設定
故障時の対応
資料

## ステップ 1　準備する

**1** 次の機材を用意する
ディスプレイ、USB キーボード、USB 接続の DVD ドライブ(USB 2.0 対応のもの)、本製品添付のサポート DVD

**2** 本製品の HDMI コネクターにディスプレイをつなぐ

**3** 本製品の USB ポートに USB キーボードをつなぐ

**4** 本製品の USB ポートに USB 接続の DVD ドライブを接続します。
※上記以外の機器は接続しないでください。

次に以下の【ステップ2】へお進みください。

## ステップ 2　リカバリープログラムを起動する

**1** DVD ドライブにサポート DVD をセットし、本製品の電源を入れる
リカバリープログラムが起動し、使用許諾が表示されます。

**リカバリープログラムが起動しない場合**
● BIOS 設定の変更が必要な場合があります。
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
①本製品の電源投入直後より、[F2] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する
②カーソルキーで [ 起動 ] を選ぶ
③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
④ [USB CD/DVD:xxxx] を選び、Enter キーを押す
(xxxx は DVD ドライブのメーカー名とモデル名 )
※ USB ドライブの起動優先順位を最も高く設定します。
以上で BIOS 設定は変更されました。ステップ 2 手順 1 より再度実行してください。

## 2 リカバリープログラムが起動し、使用許諾が表示されたら、キーボードの1を入力し [Enter] キーを押す

（「1-　上記を承諾してリカバリーを実行する」を選択します。）

## 3 「本当にリカバリーを実行してよろしいですか？ (yes/no)」で、[yes] と入力して、[Enter] キーを押す

→リカバリーが開始されます。システムのリカバリーには 15 分～ 30 分程度必要です。

## 4 「リカバリーが正常に完了しました。サポート DVD を抜いてください。何かキーを押すと再起動します。」と表示されたら、サポート DVD-ROM を本製品から取り外し、何かキーを押す

→本製品が再起動します。
　この後、システム領域にリビルドが行われます。
　（リビルド中は本製品の操作・動作が遅くなります。）

以上でリカバリーは完了です。

**ご注意**

● Windows の初期化作業のため、起動するまでに何度か自動的に再起動します。

# 出荷時設定

| | |
|---|---|
| コンピューター名 | HDL-ZWEI |
| ワークグループ名 | WORKGROUP |
| IP アドレス | 自動取得 |
| DNS サーバーアドレス | 自動取得 |
| RAID 状態 | RAID 1 |

# ランプの状態

| カテゴリ | STATUS | HDD | ブザー※1 | 動作内容 | 対処 |
|---|---|---|---|---|---|
| 通常稼動時 | 緑点灯 | 緑点灯 | なし | ー | ー |
| RAID 再構築 | 緑点滅 | 緑点滅 | ピロッ | RAID 再構築中のとき | RAID を再構築中です。再構築が完了するまで HDD の抜き差しを行わないでください。 |
| エラー | 赤点滅 | 該当HDD赤点灯 | ピッピッ、ピッピッ… | デグレード発生時 | 至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 |
| | 赤点滅 | 全HDD赤点灯 | ピーポー、ピーポー… | RAID 崩壊時 | 至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。 |
| | 赤点灯 | 全HDD赤点灯 | なし | 起動 HDD がない時 | 起動 HDD が接続されていません。HDD が正常に接続されていることを確認してください。 |
| | 赤点灯 | 緑点灯 | なし | 温度異常の時 | 設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認してください。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動していることを確認してください。 |

※ 1　RAID 状態に変化があったときにブザーが鳴ります。ブザー音が鳴った場合、[Func.] ボタンを押す、または、「ZWS Manager」上で [ ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

# ログ、メール一覧

| ログ・メール内容 | メールタイトル | 概要 | 対処 |
|---|---|---|---|
| 内蔵スロット x のディスクにエラーが検出されました。<br>システムを再起動しても再度エラーが検出される場合は、ディスクに致命的なエラーが発生している可能性があるため、至急交換してください。<br>(x は、1～2) | ディスクエラー | 内蔵スロット x のディスクが「エラー」状態になった。<br>(x は、1～2) | 至急システムボリュームおよびデータボリュームのバックアップを取ってください。<br>システムボリュームおよびデータボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。<br>システムを再起動可能な場合は、再起動を行ってエラーが消えるか確認してください。<br>内蔵スロット x のディスクを交換してください。<br>ZWS Manager からアンプラグできない場合は、システムの電源を切ってから交換してください。(x は、1～2) |
| システムボリューム上にエラーが検出されました。 | ボリュームエラー | システムボリュームの状態が「失敗」となった。<br>システムボリュームの情報が「危険」となった。 | 至急システムボリュームのバックアップを取ってください。<br>システムボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。<br>構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。<br>システムが起動不能となった場合は、システムのリストアを行ってください。 |
| データボリューム上にエラーが検出されました。 | ボリュームエラー | システムボリュームの状態が「失敗」となった。<br>システムボリュームの情報が「危険」となった。 | 至急データボリュームのバックアップを取ってください。<br>データボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。<br>構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。<br>データボリュームにアクセスできなくなった場合は、データボリュームを再構築してください。 |
| システムボリュームの冗長性が失われています。 | ボリュームエラー | システムボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。 | 至急システムボリュームのバックアップを取ってください。<br>構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 |
| データボリュームの冗長性が失われています。 | ボリュームエラー | データボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。 | 至急データボリュームのバックアップを取ってください。<br>構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 |
| システムボリュームの再構築が開始されました。 | ボリューム情報 | システムボリュームの状態が「再構築中」となった | システムボリュームの状況を確認してください。 |
| データボリュームの再構築が開始されました。 | ボリューム情報 | データボリュームの状態が「再構築中」となった。 | データボリュームの状況を確認してください。 |
| システムボリュームの再構築が完了しました。 | ボリューム情報 | システムボリュームの状態が (「正常」以外の状態から )「正常」となった。 | システムボリュームの状況を確認してください。 |
| データボリュームの再構築が完了しました。 | ボリューム情報 | データボリュームの状態が (「正常」以外の状態から )「正常」となった。 | データボリュームの状況を確認してください。 |
| ZWS RAID Manager で管理できない状態です。 | (メールなし) | 内蔵ディスク上にボリュームが 3 個以上存在する。 | 内蔵ディスク上にシステムボリュームと、データボリュームが 1 個だけ存在する状態にしてください。 |
| 本体内部の温度が仕様範囲を超えたため本体をシャットダウンしました。 | 温度異常 | システム温度が仕様範囲を超えた。 | 設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認して下さい。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動していることを確認してください。 |
| Func ボタンが押され登録されているコマンド xxx が実行されました。（x x x は登録したコマンド） | (メールなし) | Func. ボタンが有効で、Func. ボタンが押された。 | Func ボタン機能が有効の場合は、Func . ボタンを 3 秒以上押すと登録したコマンドが実行されますので、登録されたコマンドが実行されたことを確認してください。 |

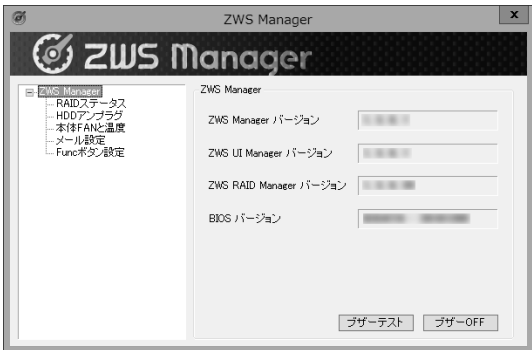
# ZWS Manager

ZWS Manager は本製品の RAID 管理、温度管理、その他設定を行う管理ソフトです。
ZWS Manager は本製品の起動と同時に自動的に起動します。初期状態はタスクトレイ上に表示されています。

**ご注意**

● ZWS Manager は、Administrator の権限のユーザーでログオンした場合のみ起動できます。

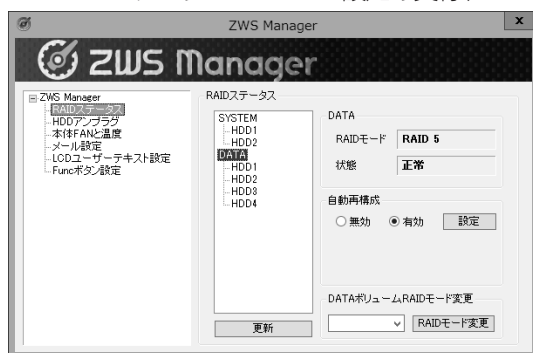
## ZWS Manager メイン画面の表示方法

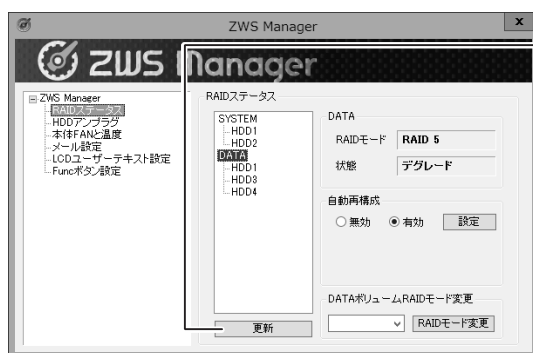
タスクトレイのアイコンをクリック

ZWS Manager のメイン画面が表示されます。
画面左側が項目、右側が詳細情報ビューです。

▼ ZWS Manager … メイン画面です。各種バージョンを表示します。

| ZWS Manager バージョン | ZWS Manager のバージョンを表示します。 |
|---|---|
| ZWS UI Manager バージョン | ZWS UI Manager のバージョンを表示します。 |
| ZWS RAID Manager バージョン | ZWS RAID Manager のバージョンを表示します。 |
| BIOS バージョン | 製品の BIOS バージョンを表示します。 |

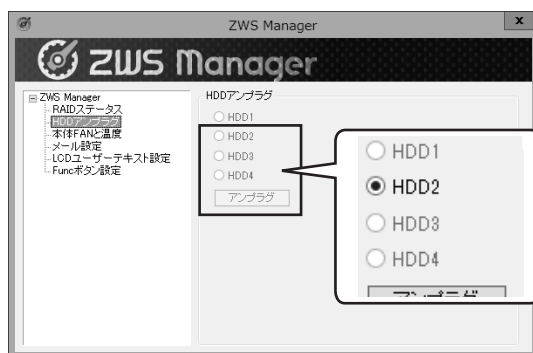
# ZWS Manager 画面一覧

▼ RAID ステータス … RAID 設定の実行、RAID 情報が表示されます。

| | |
|---|---|
| SYSTEM | システムに使用しているハードディスクを表示します。 |
| DATA | データ領域に使用しているハードディスクを表示します。<br>※マルチディスクの場合、表示されません。 |
| RAID モード | 現在設定されている RAID モードを表示します。 |
| 状態 | 現在の RAID の状態を表示します。 |
| 自動再構成 | 自動再構成の有効 / 無効を設定します。<br>有効に設定すると、故障ハードディスク（カートリッジ）の交換時に自動的に再構築を行います。<br>無効に設定すると、故障ハードディスク（カートリッジ）の交換をしても自動再構築を行いません。<br>RAID 構成に組み込む HDD にチェックをつけてから、[ 設定 ] ボタンをクリックすると、再構築を行います。<br>結果は RAID ステータス画面で確認します。( 結果の反映まで数分必要な場合があります。) |
| RAID モード変更 | データボリュームの RAID モードを変更・表示します。<br>※マルチディスクの場合､変更できません。設定方法は、【マルチディスク】（26 ページ）をご覧ください。 |

カートリッジ交換後に RAID ステータスで認識されない場合

## [ 更新 ] をクリック

本製品の電源が入っている状態で、カートリッジを交換後に、ZWS Manager の RAID ステータスで認識されず、リビルドが開始できない場合があります。

※ RAID ステータス画面の反映まで、数分程度かかります。

▼ HDD アンプラグ … 障害が発生したハードディスクを指定し、[ アンプラグ ] 処理を行います。

障害が発生した HDD 番号以外は、選択できません。

※マルチディスクの場合､ZWS Manager からは取り外しできません。

※左の画面は、HDD2 に障害が発生した場合の表示例です。

▼本体 FAN と温度 … FAN の回転数と本体温度を表示します。

| | |
|---|---|
| FAN 回転数 | 現在の FAN の回転数を表示します。<br>搭載されている FAN の数に応じて、複数表示される場合があります。 |
| 本体温度 | 現在の本体の温度を表示します。 |

▼メール設定 … メール送信設定を表示します。

| | |
|---|---|
| メール機能 | メール機能の有効 / 無効を設定します。 |
| SMTP サーバー | SMTP サーバーを入力します。 |
| SMTP サーバーポート番号 | SMTP サーバーポート番号を入力します。 |
| メール差出人アドレス | 差出人として表示するメールアドレスを入力します。 |
| 認証方式 | 認証方式を選択します。 |
| 認証 POP サーバー名 | 選択した [ 認証方式 ] に応じた認証 POP サーバー名を入力します。 |
| ユーザー名 | 選択した [ 認証方式 ] に応じたユーザー名を入力します。 |
| パスワード | 選択した [ 認証方式 ] に応じたパスワードを入力します。 |
| メール送信先アドレス | 送信先のメールアドレスを入力します。<br>複数のアドレスを設定したい場合はセミコロン<br>“;” で区切ってください。(最大 512 文字) |
| エンコード | エンコード方式を [ISO-2022-JP] か [UTF-8] から選択します。 |

▼ Func ボタン設定 … Func ボタンの設定を表示します。

| | |
|---|---|
| Func ボタン機能 | Func ボタン機能の有効 / 無効を設定します。 |
| アプリケーション | Func ボタンを押すと起動するアプリケーションを設定します。 |

※ Func ボタンに登録できるアプリケーションは、管理者権限を必要としないコマンドラインプログラムのみとなります。
また、実行時に管理者権限を必要とする処理（フォルダーへのアクセス等）をおこなうプログラムも正常に動作しません。

# クローン for Windows

「クローン for Windows」は、２台の NAS の共有フォルダーを定期的に同期させ、NAS の故障からの復旧時間を大幅に短縮させるバックアップソフトです。本製品のお買い上げのお客様は、「クローン for Windows」を無料でダウンロードできます。

万一、メイン機が故障した場合でも、バックアップ機に切り替えるだけですぐに運用を再開することができます。

また、古くなった Windows Server 2003 搭載サーバーから新しい NAS にデータを移行する場合も利用できます。

詳しくは次のサイトをご覧ください。
**http://www.iodata.jp/biz/cloneforwindows/**

本書では、「クローン for Windows」のダウンロード方法を説明しています。使用方法については、クローン for Windows 画面で見るマニュアルをご覧ください。

## クローン for Windows をダウンロードする

### 1 以下の Web ページにアクセスする

**https://ioportal.iodata.jp/**

**ソフトウェアをダウンロードするため、ユーザー登録してください**
ユーザー登録後、本製品のシリアル番号を登録することで、ソフトウェアをダウンロードできます。

### 2

はじめて登録する場合
[ 新規会員登録へ ] をクリックし、画面の指示にしたがってください。

3

[ 製品を登録する ] をクリック

4

①本製品のシリアル番号を入力

②［製品を登録する］をクリック

5

IOPortal 会員情報サービス　お持ちの製品を登録

シリアル番号

以下の一覧から製品を選択し、「製品を登録する」ボタンをクリックしてください。

| 選択 | 型番 | 製品名 |
|---|---|---|
| ◉ | | |

製品を登録する　戻る

内容を確認して、
[ 製品を登録する ] をクリック

6

IOPortal 会員情報サービス　製品登録完了

製品登録完了

製品の登録が完了いたしました。
製品一覧にて、お持ちの製品や各種サービスをご確認いただけます。

登録製品

製品名
型番
シリアル番号
この製品のQ&Aを検索する

登録製品の一覧へ戻る

[ 登録製品の一覧へ戻る ] を
クリック

使う前に
導入する
その他の設定
故障時の対応
資料

これでソフトウェアのダウンロードは完了です。

# ハードウェア仕様

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| シリーズ | | HDL-Z2WEI シリーズ |
| 搭載 OS | | Windows Embedded Standard 7P 64 ビット版 |
| カートリッジ | | 2 スロット対応（SATA 接続） |
| メモリ容量 | | 8GB |
| RAID | | RAID 0/1 |
| CPU | | Intel Core i3 Processor 3.30GHz(Dual Core) |
| LAN | 転送規格 | IEEE 802.3ab、IEEE802.3u、IEEE802.3<br>(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) |
| | 最大転送速度 | 1000/100/10Mbps |
| | コネクター | RJ-45 × 2 |
| | アクセス方法 | CSMA/CD |
| | MDI/MDI-X | 自動切換 |
| | 適合ケーブル | UTP カテゴリー 5e 以上、100m 以下 |
| USB ホスト | 転送規格 | USB 2.0(1.1 含む) / USB 3.0 |
| | 最大転送速度 | 480Mbps / 5Gbps |
| | コネクター | USB 2.0 用 A コネクター× 4<br>USB 3.0 用 A コネクター× 1 |
| 電源仕様 | 定格電圧 | DC12V |
| | 消費電力 ( 電流 ) | 6A |
| 動作環境 | 使用温湿度 | 0 ～ 40℃　20 ～ 80%（結露なきこと） |
| 物理仕様 | 外形寸法<br>（突起部含まず） | 102(H)x216(W)x154(H)mm |
| | 質量 | 約 4.2kg |

# アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから５年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、５年以前に各対応を終了する場合があります。

## お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

● **サポートページのQ&Aを参照**

● **最新のソフトウェアをダウンロード**

**http://www.iodata.jp/support/**

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

**電話：050-3116-3025**

※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）

**FAX：076-260-3360**

**インターネット：http://www.iodata.jp/support/**

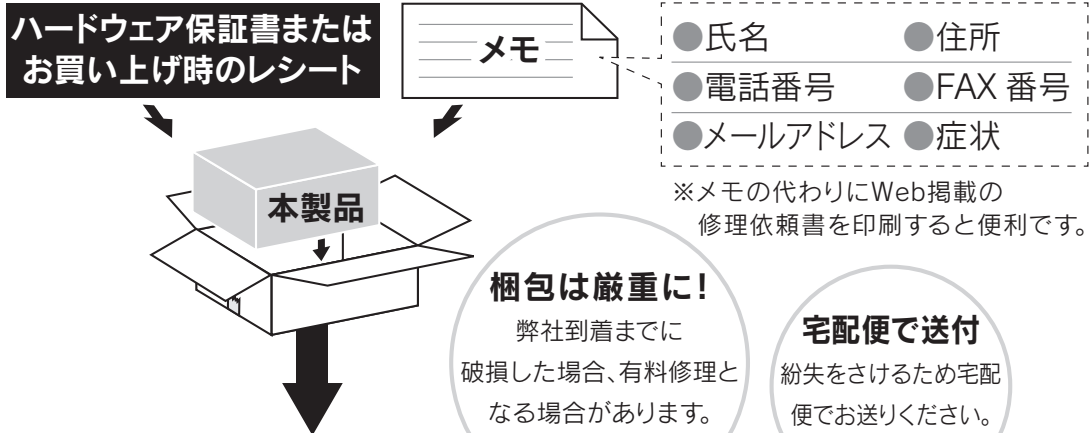
<ご用意いただく情報>

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

### 個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（http://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

## 修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

**〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地**
**株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛**

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えてください。

**修理について詳しくは以下をご確認ください**

**http://www.iodata.jp/support/after/**

# マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

**WINDOWS EMBEDDED STANDARD 7**

本マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 (以下「本ライセンス条項」といいます) は、お客様と株式会社アイ･オー･データ機器 (以下、「アイオーデータ」) との契約を構成します。以下のライセンス条項をお読みください。本ライセンス条項は、本デバイスに含まれる本ソフトウェアに適用されます。本ソフトウェアには、お客様が本ソフトウェアを受け取った別個のメディアも含まれます。

本デバイス上の本ソフトウェアには、Microsoft Corporation またはその関連会社からライセンスされているソフトウェアが含まれます。
また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト製品にも適用されるものとします。

- 更新プログラム
- 追加ソフトウェア
- インターネットベースのサービス
- サポート サービス

なお、これらの製品に別途ライセンス条項が付属している場合には、当該ライセンス条項が適用されるものとします。

お客様が更新プログラムまたは追加ソフトウェアをマイクロソフトから直接入手された場合は、アイオーデータではなく、マイクロソフトが当該更新プログラムまたは追加ソフトウェアのライセンスを付与します。

**以下に説明するように、本ソフトウェアを使用することにより、インターネットベースのサービスのために特定のコンピューター情報を送信することにお客様が同意されたものとします。**

**本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。この場合、アイオーデータに問い合わせて、お支払いいただいた金額の払い戻しに関する方針を確認してください。**

**お客様がこれらのライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下が許諾されます。**

1. **使用権**
   **使用。**本ソフトウェア ライセンスは、お客様が本ソフトウェアと共に取得されたデバイスに永続的に割り当てられます。お客様は、本ソフトウェアを本デバイスで使用することができます。
2. **追加のライセンス条件および追加の使用権**
   a. **特定用途。**アイオーデータは、本デバイスを特定用途向けに設計しました。お客様は、当該用途に限り本ソフトウェアを使用することができます。

   b. **その他のソフトウェア。**お客様は、その他のプログラムが以下の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェアと共にその他のプログラムを使用することができます。
   - 本デバイスに関する製造業者の特定用途を直接サポートしている。または
   - システム ユーティリティ、リソース管理、あるいはウイルス対策または同様の保護を提供している。
   - コンシューマー タスクまたはプロセスや、ビジネス タスクまたはプロセスを提供するソフトウェアを、本デバイス上で実行することはできません。これには、電子メール、ワード プロセッシング、表計算、データベース、スケジュール作成、家計簿ソフトウェアが含まれます。本デバイスは、ターミナル サービス プロトコルを使用して、サーバー上で実行されているかかるソフトウェアにアクセスすることができます。

   c. **デバイスの接続。**お客様は、本ソフトウェアをサーバー ソフトウェアとして使用することはできません。つまり、複数のデバイスから同時に、本ソフトウェアにアクセスしたり、本ソフトウェアを表示、実行、共有、または使用したりすることはできません。

   お客様は、ターミナル サービス プロトコルを使用して、デバイスを、電子メール、ワード プロセッシング、スケジュール作成、または表計算などのビジネス タスクまたはプロセス ソフトウェアを実行しているサーバーに接続することができます。

   お客様は、最大 10 台の他のデバイスから本ソフトウェアにアクセスして、以下のサービスを使用することを許可できます。
   - ファイル サービス
   - プリント サービス
   - インターネット インフォメーション サービス、および
   - インターネット接続の共有およびテレフォニー サービス

   上記の 10 台という接続数制限は、「マルチプレキシング」または接続数をプールするその他のソフトウェアもしくはハードウェアを介して本ソフトウェアに間接的にアクセスするデバイスにも適用されます。お客様は、TCP/IP を介して無制限の受信接続を随時使用することができます。

   d. **リモート アクセス テクノロジ。**お客様は、以下の条件に従う場合に限り、リモート アクセス テクノロジを使用して他のデバイスから本ソフトウェアにリモート アクセスして使用することができます。

   <u>リモート デスクトップ</u>。本デバイスの特定の 1 名の主要ユーザーは、リモート デスクトップ機能またはこれに類似するテクノロジを使用して、他のデバイスからセッションにアクセスすることができます。「セッション」とは、入力、出力、および表示用の周辺機器を利用して直接または間接に本ソフトウェアを双方向で使用できる状態を意味します。リモート デバイス用の本ソフトウェアを実行するためのライセンスが別途取得されている場合、その他のユーザーもこれらのテクノロジを使用して、任意の数のデバイスからセッションにアクセスすることができます。

   <u>その他のアクセス テクノロジ</u>。お客様は、リモート アシスタンスまたはこれに類似するテクノロジを使用してセッションを共有することができます。

   <u>その他のリモート使用</u>。お客様は、任意の数のデバイスに、デバイス間でのデータの同期など上記の「デバイスによる接続」および「リモート アクセス テクノロジ」の項に記載されている以外の目的で、本ソフトウェアにアクセスすることを許可することができます。

   e. **フォント コンポーネント。**本ソフトウェアの実行中、お客様は本ソフトウェアに付属のフォントを使用してコンテンツを表示および印刷することができます。以下の操作のみが許可されます。
   - フォントの埋め込みに関する制限の下で許容される範囲でコンテンツにフォントを埋め込む。
   - コンテンツを印刷するために、フォントをプリンターまたはその他の出力デバイスに一時的にダウンロードする。

   f. **アイコン、画像、および音声。**本ソフトウェア作動中、本ソフトウェアのアイコン、イメージ、サウンド、およびメディアを使用することはできますが、これらを共有することはできません。
3. **VHD ブート。**本ソフトウェアの仮想ハード ディスク機能を使用して作成された本ソフトウェアの追加の複製 (以下「VHD イメージ」といいます) が、本デバイスの物理ハード ディスクにプレインストールされていることがあります。これらの VHD イメージは、物理ハード ディスクまたは物理ハード ドライブにインストールされている本ソフトウェアを保守または更新するためにのみ使用することができます。VHD イメージがお客様のデバイス上の唯一のソフトウェアである場合、プライマリのオペレーティング システムとして使用することができますが、VHD イメージの他のすべての複製は保守および更新以外を目的として使用することはできません。
4. **問題を起こす可能性のある危険なソフトウェア。**本ソフトウェアには、Windows Defender が含まれている場合があります。Windows Defender を有効にした場合、「スパイウェア」や「アドウェア」など、問題を起こす可能性のある危険なソフトウェアが本デバイスに存在しないかが Windows Defender によって検索されます。問題を起こす可能性のあるソフトウェアが見つかった場合、そのソフトウェアを無視するか、無効にするか (隔離)、または削除するかを確認するメッセージが表示されます。既定の設定を変更していない限り、問題を起こす可能性のある危険なソフトウェアのうち「高」または「重大」と評価されるものは、スキャン後に自動的に削除されます。問題を起こす可能性のあるソフトウェアを削除するか、無効にする場合、次の点に注意する必要があります。
   - デバイスにある他のソフトウェアが動作しなくなる場合がある。
   - 本デバイス上の他のソフトウェアを使用するためのライセンスに抵触する場合がある。

   本ソフトウェアを使用することで、問題を起こす可能性のあるソフトウェアではないソフトウェアも削除されたり、無効化されたりする可能性があります。
5. **ライセンスの適用範囲。**本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本ライセンス条項は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を付与します。アイオーデータおよびマイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用される法令により上記の制限を超える権利が与えられる場合を除き、お客様は本ライセンス条項で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用することができます。この場合、お客様は、使用方法を制限するために本ソフトウェアに組み込まれている技術的制限に従わなければなりません。詳細については、本ソフトウェア付属の文書を参照するか、アイオーデータにお問い合わせください。お客様は、以下を行うことはできません。
   - 本ソフトウェアの技術的な制限を回避して使用すること。

- 本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること。
- 本ライセンス条項で規定されている数以上の本ソフトウェアの複製を作成すること。
- 第三者が複製できるように本ソフトウェアを公開すること。
- 本ソフトウェアをレンタル、リース、または貸与すること。
- 本ソフトウェアを商用ソフトウェア ホスティング サービスで使用すること。

本ライセンス条項に明示的に規定されている場合を除き、本デバイス上の本ソフトウェアにアクセスする権利は、本デバイスにアクセスするソフトウェアまたはデバイスにおいてマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利を、お客様に付与するものではありません。

6. **インターネットベースのサービス。**マイクロソフトは、本ソフトウェアについてインターネットベースのサービスを提供します。マイクロソフトは、いつでもこのサービスを変更または中止できるものとします。

a. **インターネットベースのサービスに関する同意。**本デバイスには、以下に記載されている 1 つ以上のソフトウェア機能が含まれている場合があります。これらの機能は、インターネットを経由してマイクロソフトまたはサービス プロバイダーのコンピューター システムに接続します。接続が行われた際、通知が行われない場合があります。これらの機能の詳細については、go.microsoft.com/fwlink/?linkid=104604 をご参照ください。

**これらの機能を使用することで、お客様は、この情報の送信に同意されたものとします。**マイクロソフトは、これらの情報を利用してお客様の特定またはお客様への連絡を行うことはありません。

コンピューター情報。以下の機能はインターネット プロトコルを使用しており、お客様の IP アドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザーの種類、使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、ならびに本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのコンピューター情報を適切なシステムに送信します。マイクロソフトは、お客様にインターネットベースのサービスを提供するためにこの情報を使用します。アイオー・データは、本デバイスで以下の機能を有効にすることを選択しています。

- プラグ アンド プレイおよびプラグ アンド プレイの拡張。お客様は、お客様のデバイスに新しいハードウェアを接続することができます。デバイスには、かかるハードウェアと通信するために必要なドライバーがインストールされていない場合があります。この場合、本ソフトウェアの更新機能により、マイクロソフトから適切なドライバーを取得し、お客様のデバイスにインストールすることができます。

- Web コンテンツ機能。本ソフトウェアには、関連するコンテンツをマイクロソフトから取得し、お客様に提供する機能が含まれます。これらの機能の例としては、クリップ アート、テンプレート、オンライン トレーニング、オンライン アシスタンス、および Appshelp が挙げられます。お客様は、これらの機能を解除するか、または使用しないことを選択することができます。

- デジタル証明書。本ソフトウェアは x.509 バージョン 3 デジタル証明書を使用します。これらのデジタル証明書によってお互いに情報を送信してユーザーの身元を特定したり、お客様はかかるデジタル証明書を使用して情報を暗号化したりすることができます。本ソフトウェアは、インターネットを経由して証明書を取得し、証明書失効リストを更新します。

- Auto Root 更新。Auto Root 更新機能は、信頼できる証明機関のリストを更新するものです。この機能は無効にすることができます。

- Windows Media デジタル著作権管理。コンテンツ権利者は、著作権を含む知的財産を保護する目的で、Windows Media デジタル著作権管理技術 (WMDRM) を使用しています。本ソフトウェアおよび第三者のソフトウェアは、WMDRM が保護するコンテンツを再生、複製する際に WMDRM を使用します。本ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツ権利者がマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツを WMDRM で再生または複製する本ソフトウェアの機能を無効にするよう要求することがあります。無効にされた場合も、その他のコンテンツは影響を受けません。お客様は、保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードすることでマイクロソフトがライセンスに失効リストを含めることに同意したものとします。コンテンツ権利者は、お客様がコンテンツ権利者のコンテンツにアクセスする前に、WMDRM のアップグレードを要請することがあります。WMDRM を含むマイクロソフト ソフトウェアでは,アップグレードに先立ってお客様の同意が求められます。アップグレードを行わない場合、お客様はアップグレードが必要なコンテンツにアクセスできません。お客様は,インターネットに接続する WMDRM 機能を解除することができます。この機能が解除されている場合でも、正規のライセンスを取得しているコンテンツを再生することは可能です。

- Windows Media Player。お客様が Windows Media Player を使用すると、マイクロソフトに対して以下が確認されます。
  - お客様の地域において利用可能なオンライン音楽サービス
  - Windows Media Player の最新バージョン
  - コーデック (コンテンツの再生に必要なコーデックがデバイスにない場合)

  この機能は無効にすることができます。詳細については、go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=51331 をご参照ください。

- アップグレード時における悪質なソフトウェアの削除/除去。本ソフトウェアのインストール前に、www.support.microsoft.com/?kbid=890830 に掲載されている特定の悪質なソフトウェア (「マルウェア」といいます) がお客様のデバイスにインストールされていないかが自動的に確認され、お客様のデバイスから削除されます。お客様のデバイスでのマルウェアの確認時に、検出されたすべてのマルウェアまたはマルウェア確認中に発生したエラーに関する報告がマイクロソフトに送信されます。この報告には、お客様を識別するための情報は一切含まれません。お客様は、本ソフトウェアのマルウェア報告機能を www.support.microsoft.com/?kbid=890830 に掲載されている手順に従って無効にすることができます。

- ネットワーク認識。ネットワーク トラフィックのパッシブ モニタリングまたはアクティブ DNS (または HTTP) クエリにより、システムがネットワークに接続されているかどうかが判別されます。このクエリでは,ルーティングのための標準的な TCP/IP 情報または DNS 情報の送信のみを行います。お客様は、レジストリ設定により、このアクティブ クエリ機能を解除することができます。

- Windows タイム サービス。このサービスは、www.time.windows.com と週に 1 回同期することで、お客様のデバイスの時刻を正確に設定するものです。接続には標準の NTP プロトコルを使用します。

- 検索候補サービス。Internet Explorer でクイック検索ボックスを使用するか、またはアドレス バーで検索用語の前に疑問符 (?) を入力して検索クエリを入力すると、入力に応じた検索候補が表示されます (ご使用の検索プロバイダーでサポートされている場合)。クイック検索ボックスに入力したすべての語、またはアドレス バーに入力した疑問符 (?) より後ろにあるすべての語は、入力と同時に検索プロバイダーに送信されます。また、Enter キーを押すか、または [検索] ボタンをクリックすると、クイック検索ボックスまたはアドレス バーにあるすべてのテキストが検索プロバイダーに送信されます。お客様がマイクロソフトの検索プロバイダーを使用する場合、送信される情報の使用は「マイクロソフト オンライン プライバシーに関する声明」に準拠するものとします。この声明は、go.microsoft.com/fwlink/?linkid=31493 に掲載されています。お客様が第三者の検索プロバイダーを使用する場合、送信される情報の使用は第三者のプライバシー ポリシーに準拠するものとします。お客様はいつでも検索候補の表示をオフにすることができます。これを行うには、Internet Explorer の [ツール] メニューにある [アドオンの管理] を使用します。検索候補サービスの詳細については、go.microsoft.com/fwlink/?linkId=128106 をご参照ください。

- 赤外線送信/受信機のアップデートの了承。本ソフトウェアには、一部の Media Center ベースの製品と共に出荷される赤外線送信/受信機の正常動作を保証するためのテクノロジが含まれている場合があります。お客様は、本ソフトウェアがこのデバイスのファームウェアをアップデートすることに同意されたものとします。

- Media Center オンライン プロモーション。お客様が本ソフトウェアの Media Center 機能を使用してインターネットベースのコンテンツまたはその他のインターネットベースのサービスにアクセスした場合、かかるサービスは本ソフトウェアから以下の情報を取得し、お客様が特定の宣伝サービスを受け取り、受け入れ、および使用できるようにします。

  - お客様のインターネット プロトコル アドレス、使用しているオペレーティング システムおよびブラウザーの種類、ならびに使用している本ソフトウェアの名称およびバージョンなどの特定のデバイス情報
  - 要求したコンテンツ
  - 本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コード
  - お客様は、Media Center 機能を使用してかかるサービスに接続することにより、これらの情報の収集および使用に同意されたものとします。

- メディア再生機能の更新。本デバイス上の本ソフトウェアには、MSCORP Media Playback Update サーバーから更新プログラムを直接受け取るメディア再生機能が含まれている場合があります。お客様の製造業者がアクティベーションを実行している場合、これらの更新プログラムはお客様に通知することなくダウンロードおよびインストールが行われます。製造業者は、これらの更新プログラムがお客様のデバイス上で確実に動作するようにする責任を負います。

- Windows Update Agent。本デバイス上の本ソフトウェアには、Windows Update Agent（以下「WUA」といいます）が含まれています。この機能を使用すると、お客様のデバイスで MSCORP Windows Update サーバーから直接、または必要なサーバー コンポーネントがインストールされているサーバーおよび Microsoft Windows Update サーバーから Windows 更新プログラムにアクセスできます。本ソフトウェアの Windows Update サービス（使用している場合）を適切に機能させるために、Windows Update サービスの更新またはダウンロードが適宜必要になり、お客様に通知することなくダウンロードとインストールが行われます。本ライセンス条項または Windows 更新プログラムに付属するライセンス条項の他の免責条項を制限することなく、お客様は、お客様のデバイスにインストールするかまたはインストールしようとする任意の Windows 更新プログラムに関して、Microsoft Corporation またはその関連会社からいかなる保証も提供されないことを認め、同意するものとします。

b. **情報の使用。**マイクロソフトでは、ソフトウェアの改善およびサービスの向上を目的として、デバイスの情報、エラー報告、およびマルウェア報告を使用することがあります。また、ハードウェア ベンダーやソフトウェア ベンダーなど、他の企業と情報を共有する場合があります。これらの第三者は、マイクロソフト製ソフトウェアと連携して動作する自社製品の改良のため、この情報を使用することがあります。

c. **インターネットベースのサービスの不正使用。**お客様は、これらのサービスに損害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるこれらのサービスの使用を妨げる可能性のある方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不正アクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁じられています。

7. **製品サポート。**サポート オプションについては、アイオーデータにお問い合わせください。その際、デバイスと共に提供されるサポート番号をお知らせください。

8. **MICROSOFT .NET のベンチマーク テスト。**本ソフトウェアは、.NET Framework のコンポーネント（以下「.NET コンポーネント」といいます）を 1 つ以上含んでいます。お客様は、これらのコンポーネントの内部ベンチマーク テストを実施することができます。お客様は、go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406 に掲載されている条件に従うことを条件に、これらのコンポーネントのベンチマーク テストの結果を開示できます。マイクロソフトと別途の合意がある場合でも、お客様が当該ベンチマーク テストの結果を開示した場合、マイクロソフトは、go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406 に掲載されている条件と同じ条件に従うことを条件に、該当する .NET コンポーネントと競合するお客様の製品についてマイクロソフトが実施したベンチマーク テストの結果を開示する権利を有します。

9. **バックアップ用の複製。**お客様は、本ソフトウェアのバックアップ用の複製を 1 部作成することができます。バックアップ用の複製は、お客様が本ソフトウェアを、デバイスに再インストールする場合に限り使用することができます。

10. **ドキュメント。**お客様のデバイスまたは内部ネットワークに有効なアクセス権を有する者は、お客様の内部使用目的に限り、ドキュメントを複製して使用することができます。

11. **ライセンス証明書（「PROOF OF LICENSE」または「POL」）。**お客様が本ソフトウェアをデバイスにインストールされた状態、または CD-ROM またはその他のメディアで入手された場合、本ソフトウェアのライセンスが正当に取得されたものであることは、正規の Certificate of Authenticity ラベルが正規の本ソフトウェアの複製に付属していることにより識別することができます。ラベルが有効であるためには、このラベルがデバイスに貼付、あるいは アイオーデータの本ソフトウェア梱包に貼付または含まれていなければなりません。ラベルが本ソフトウェアの梱包とは別に提供されたものである場合、そのラベルは無効です。お客様が本ソフトウェアのライセンスを取得していることを証明するため、ラベルが貼付されたデバイスもしくは梱包材を保管してください。正規のマイクロソフト ソフトウェアを識別する方法については、www.microsoft.com/resources/howtotell/ja/default.mspx をご参照ください。

12. **第三者への譲渡。**本ソフトウェアは、デバイス、Certificate of Authenticity ラベル、および本ライセンス条項が付属している場合にのみ直接第三者に譲渡することができます。譲渡の前に、本ソフトウェアの譲受者は本ライセンス条項が本ソフトウェアの譲渡および使用に適用されることに同意しなければなりません。お客様は、バックアップ用の複製を含む本ソフトウェアの複製を保持することはできません。

13. **H.264/AVC 規格、VC-1 規格、MPEG-4 規格、および MPEG-2 規格に関する注意。**本ソフトウェアには、H.264/AVC、VC-1、MPEG-4 Part 2、および MPEG-2 画像圧縮テクノロジが含まれていることがあります。本ソフトウェアにこれらの画像圧縮テクノロジが含まれている場合、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。
本製品は、消費者による個人使用および非商業的使用を前提とし、「AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「MPEG-4 PART 2 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「MPEG-2 VIDEO PATENT PORTFOLIO LICENSE」のいずれか 1 つ以上に基づいて次の用途に限ってライセンスされています。(i) 上記の規格に従ってビデオをエンコードすること（以下「ビデオ規格」といいます）、または (ii) 個人使用および非商業的活動に従事する消費者がエンコードしたビデオをデコードする、もしくは、かかる特許ポートフォリオ ライセンスに基づいてビデオを提供するライセンスを有するビデオ プロバイダーから取得したビデオをデコードすること。本ライセンスは、本製品と共に単一の製品に含まれているかどうかにかかわらず、他の製品に適用されることはありません。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。詳細情報については、MPEG LA, L.L.C. から入手できます。WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

14. **MP3 オーディオ規格に関する注意。**本ソフトウェアには、ISO/IEC 11172-3 および ISO/IEC 13818-3 に規定されている MP3 オーディオ エンコーディングおよびデコーディング テクノロジが含まれています。本ソフトウェアは、商業的製品またはサービスにおいて実装または頒布するためにライセンスされるものではありません。

15. **非フォールト トレラント。本ソフトウェアは、フォールト トレラントではありません。アイオーデータは、本ソフトウェアをデバイスにインストールしており、本ソフトウェアのデバイス上での動作に責任を負うものとします。**

16. **使用制限。**マイクロソフト ソフトウェアは、フェール セーフ性能が不要なシステム用に設計されました。お客様は、本ソフトウェアの誤動作があった場合に人身傷害または死亡の予測できるリスクをもたらすデバイスまたはシステムで、マイクロソフト ソフトウェアを使用することはできません。これには、核施設、航空機のナビゲーションまたは通信システム、航空交通管制の操作が含まれます。

17. **本ソフトウェアの無保証。本ソフトウェアは、現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供されます。本ソフトウェアの使用に伴うあらゆる危険は、お客様の負担とします。マイクロソフトは、明示的な瑕疵担保責任または保証責任を一切負いません。デバイスまたは本ソフトウェアに関してお客様が受けている保証は、マイクロソフトまたはその関連会社から与えられるものではなく、マイクロソフトまたはその関連会社がその保証による拘束を受けることはありません。法律上許容される最大限において、商品性、特定目的に対する適合性、侵害の不存在に関する黙示の保証について、アイオーデータおよびマイクロソフトは一切責任を負いません。**

18. **責任の制限。マイクロソフトおよびその関連会社の責任は、250 米ドル (U.S. $250.00) を上限とする直接損害に限定されます。その他の損害（派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、および付随的損害を含みますがこれらに限定されません）に関しては、一切責任を負いません。
この制限は、以下に適用されるものとします。**
    - **本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ（コードを含みます）、または第三者のプログラムに関連した事項**
    - **契約違反、保証違反、厳格責任、過失、または不法行為等の請求（適用される法令により認められている範囲において）**

    **この制限は、マイクロソフトが損害の可能性を認識し得た場合にも適用されます。また、一部の国では付随的損害および派生的損害の免責、または責任の制限が認められないため、上記の制限事項が適用されない場合があります。**

19. **輸出規制。**本ソフトウェアは米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法（輸出対象国、エンド ユーザーおよびエンド ユーザーによる使用に関する制限を含みます）を遵守しなければなりません。詳細については www.microsoft.com/japan/exporting をご参照ください。

20. **完全合意。**本ライセンス条項、追加条項（本ソフトウェアに付属し、当該条項の一部または全部を置換または変更する印刷されたライセンス条項を含む）、ならびに追加ソフトウェア、更新プログラム、インターネットベースのサービス、およびサポート サービスに関する使用条件は、本ソフトウェアおよびサポート サービスについてのお客様とマイクロソフトとの間の完全なる合意です。

21. **準拠法**

a. **日本。**お客様が本ソフトウェアを日本国内で入手された場合、本ライセンス条項は日本法に準拠するものとします。

b. **米国。**お客様が本ソフトウェアを米国内で入手された場合、抵触法にかかわらず、本ライセンス条項の解釈および契約違反への主張は、米国ワシントン州法に準拠するものとします。消費者保護法、公正取引法、および違法行為を含みますがこれに限定されない他の主張については、お客様が所在する地域の法律に準拠します。

c. **日本および米国以外。**お客様が本ソフトウェアを日本国および米国以外の国で入手された場合、本ライセンス条項は適用される地域法に準拠するものとします。

22. **第三者のプログラム。**マイクロソフトは、本ソフトウェアに含まれる第三者のソフトウェアの著作権表示を以下に示します。これらの表示は、それぞれの著作権保有者によって義務付けられており、本ソフトウェアを使用するためのお客様のライセンスを変更するものではありません。

本ソフトウェアの特定の部分は､Spider Systems ® Limited の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは､本製品に Spider Systems Limited のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1987 Spider Systems Limited
Copyright 1988 Spider Systems Limited
Copyright 1990 Spider Systems Limited

本ソフトウェアの特定の部分は、Seagate Software の著作物に一部基づいています。

本ソフトウェアの特定の部分は、ACE*COMM Corp. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に ACE*COMM Corp. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright 1995-1997 ACE*COMM Corp

本ソフトウェアの特定の部分は、Sam Leffler 氏および Silicon Graphics, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Sam Leffler 氏および Silicon Graphics のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1988-1997 Sam Leffler
Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、
使用、改変、頒布、および販売することを無償で許可するものとします。
ただし、(i) 本ソフトウェアおよび関連ドキュメントのあらゆる複製に
上記の著作権表示とこの許可表示を記載すること、
および (ii) Sam Leffler および Silicon Graphics の書面による個別かつ事前の許可なく、
Sam Leffler および Silicon Graphics の名称を本ソフトウェアに関連する
任意の広告または宣伝で使用できないこと、を条件とします。

本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、
商品性または特定目的に対する適合性の保証を含みますがこれに限定されない、
何らの保証もない条件で提供されます。

SAM LEFFLER または SILICON GRAPHICS は、本ソフトウェアの使用または性能に
起因または関連する、あらゆる特別損害、付随的損害、または派生的損害、
もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、
損害の可能性について知らされていたかどうかにかかわらず、いかなる責任の法理においても、
一切責任を負いません。

Portions Copyright © 1998 PictureTel Corporation

本ソフトウェアの特定の部分は、Highground Systems の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Highground Systems のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1996-1999 Highground Systems

Windows 7 には、Info-ZIP グループの圧縮コードが組み込まれています。このコードの使用によって追加の料金または費用がかかることはなく、元の圧縮ソース コードは、インターネットで www.info-zip.org/ または ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/src/ から無償で入手できます。

Portions Copyright © 2000 SRS Labs, Inc

本製品には、'zlib' 汎用圧縮ライブラリのソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、ScanSoft, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に ScanSoft, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

TextBridge® OCR © by ScanSoft, Inc.

本ソフトウェアの特定の部分は、南カリフォルニア大学の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に南カリフォルニア大学のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Copyright © 1996 by the University of Southern California
All rights reserved.

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、ソースおよびバイナリ形式で使用、複製、改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし､あらゆる複製に上記の著作権表示とこの許可表示の両方を記載すること､およびかかる頒布と使用に関連する任意のドキュメント、広告物、その他の資料において、本ソフトウェアが南カリフォルニア大学情報科学研究所によって一部開発されたことに同意すること、を条件とします。南カリフォルニア大学の名称は、書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアから派生する製品の推奨または販売促進を行うために使用することはできません。

南カリフォルニア大学は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。

その他の著作権が本ソフトウェアの一部に適用されることがあり、該当する場合はそのように記載されます。

本ソフトウェアの特定の部分は、James Kanze 氏の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に James Kanze 氏のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

著作権および許可に関する表示


本ソフトウェアおよび関連ドキュメント ファイル (以下「本ソフトウェア」といいます) の複製を取得する者に対し、制限を負うことなく、本ソフトウェアを使用、複製、公開、頒布、および本ソフトウェアの複製を販売する権利、ならびに本ソフトウェアの提供を受ける者に同様の取り扱いを許可する権利を含みますがこれらに限定されない本ソフトウェアの取り扱いを無償で許可するものとします。ただし、上記の著作権表示およびこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載することを条件とします。また、改変したソフトウェアでは、接頭辞「GB_」を他の接頭辞に変更し、インクルード ファイルのディレクトリ名 (この頒布では「gb」) も変更するという条件の下で、本ソフトウェアのいかなる改変も行うことを許可するものとします。

本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性、特定目的に対する適合性、および第三者の権利侵害の不存在の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。この表示に記載されている著作権保有者は、本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、賠償請求、あらゆる特別損害、間接損害、または派生的損害、もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、契約行為、過失、またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

この表示に記載されている場合を除き、著作権保有者の書面による事前の承認なく、著作権保有者の名称を、本ソフトウェアの広告、もしくは販売、使用、またはその他の取り扱いの促進に使用することはできないものとします。

本製品には、Cisco ISAKMP Services のソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、RSA Data Security, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に RSA Data Security, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。



本ソフトウェアまたはこの機能を記載または参照するすべての資料に、当該ソフトウェアまたは機能が「RSA Data Security, Inc. による MD5 メッセージ ダイジェスト アルゴリズム」であると明記することを条件に、本ソフトウェアを複製および使用するライセンスを付与するものとします。派生品についても、当該派生品を記載または参照するすべての資料に、当該派生品が「RSA Data Security, Inc. による MD5 メッセージ ダイジェスト アルゴリズムから派生した」ことを明記することを条件に、作成および使用するライセンスを付与するものとします。

RSA Data Security, Inc. は、本ソフトウェアの商品性または本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

これらの表示は、このドキュメントおよび本ソフトウェアのいかなる部分の複製においても保持されなくてはなりません。

本ソフトウェアの特定の部分は、OpenVision Technologies, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に OpenVision Technologies, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。



本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、頒布、および販売することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝において OpenVision の名称を使用しないこと、を条件とします。OpenVision は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

OPENVISION は、商品性および適合性についてのあらゆる黙示の保証を含め、本ソフトウェアに関する保証を一切行いません。また、OPENVISION は、本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、あらゆる特別損害、間接損害、または派生的損害、もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、契約行為、過失、またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

本ソフトウェアの特定の部分は、Regents of The University of Michigan の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Regents of The University of Michigan のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。



本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝においてミシガン大学の名称を使用しないこと、を条件とします。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。



ソースおよびバイナリ形式での再頒布および使用は、この表示を保持すること、およびミシガン大学アナーバー校に対してしかるべき功績を認めることを条件に許可されます。ミシガン大学アナーバー校の名称は、書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアから派生する製品の推奨または販売促進を行うために使用することはできません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本ソフトウェアの特定の部分は、マサチューセッツ工科大学の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品にマサチューセッツ工科大学のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。



本ソフトウェアをアメリカ合衆国から輸出するには、米国政府からの特定のライセンスが必要な場合があります。かかるライセンスは、輸出を検討している個人または組織の責任において、輸出前に取得してください。

この制約の範囲内で、本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、
および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝において M.I.T. の名称を使用しないこと、を条件とします。M.I.T. は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本ソフトウェアは、米国法に基づいて、米国商務省からのライセンスなく、米国外に輸出することはできません。



本ソフトウェアをアメリカ合衆国から輸出するには、米国政府からの特定のライセンスが必要な場合があります。かかるライセンスは、輸出を検討している個人または組織の責任において、輸出前に取得してください。

この制約の範囲内で、本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、かかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、および書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアの頒布に関する広告または宣伝において M.I.T. の名称を使用しないこと、を条件とします。M.I.T. は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本製品には、カリフォルニア大学バークレー校および同校の協力者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Northern Telecom からライセンスを取得した「Entrust」のセキュリティ テクノロジによる著作物に一部基づいています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Hewlett-Packard Company の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Hewlett-Packard Company のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。



本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、その目的を問わず、使用、複製、改変、頒布、および販売することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の著作権表示を記載すること、およびかかる著作権表示とこの許可表示の両方を付属ドキュメントに記載すること、を条件とします。Hewlett-Packard Company および Microsoft Corporation は、本ソフトウェアの適合性について、その目的を問わず、何らの表明を行うものではありません。本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず何らの保証もない条件で提供されます。

本製品には、'libpng' PNG リファレンス ライブラリのソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、Autodesk, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Autodesk, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。



本ソフトウェアには、画像フィルター ソフトウェアが含まれています。本ソフトウェアは、Independent JPEG Group の著作物に一部基づいています。

本製品には、KS Waves Ltd. の「True Verb」テクノロジが含まれています。

本ソフトウェアの特定の部分は、SGS-Thomson Microelectronics, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に SGS-Thomson Microelectronics, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。



本ソフトウェアの特定の部分は、Unicode, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Unicode, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

著作権および許可に関する表示

Copyright © 1991-2005 Unicode, Inc. All rights reserved. www.unicode.org/copyright.html に掲載されている使用条件に基づいて頒布されます。

Unicode データ ファイルおよび任意の関連ドキュメント (以下「データ ファイル」といいます) または Unicode ソフトウェアおよび任意の関連ドキュメント (以下「本ソフトウェア」といいます) の複製を取得する者に対し、制限を負うことなく、データ ファイルまたは本ソフトウェアを使用、複製、改変、結合、公開、頒布、およびデータ ファイルまたは本ソフトウェアの複製を販売する権利、ならびにデータ ファイルまたは本ソフトウェアの提供を受ける者に同様の取り扱いを許可する権利を含みますがこれらに限定されないデータ ファイルまたは本ソフトウェアの取り扱いを無償で許可するものとします。ただし、(a) 上記の著作権表示およびこの許可表示の両方をデータ ファイルまたは本ソフトウェアのすべての複製に記載すること、(b) 上記の著作権表示およびこの許可表示の両方を関連ドキュメントに記載すること、(c) 改変された各データ ファイルまたはソフトウェア、およびデータまたはソフトウェアが改変されたデータ ファイルまたは本ソフトウェアに関連するドキュメントにその旨の表示を明記すること、を条件とします。

データ ファイルおよび本ソフトウェアは、現状有姿のまま、明示、黙示を問わず、商品性、特定目的に対する適合性、および第三者の権利侵害の不存在の保証を含みますがこれに限定されない、何らの保証もない条件で提供されます。この表示に記載されている著作権保有者は、データ ファイルまたは本ソフトウェアの使用または性能に起因または関連する、賠償請求、あらゆる特別損害、間接損害、または派生的損害、もしくは使用不能、データの損失または利益の逸失から生じる一切の損害に関し、契約行為、過失、またはその他の不法行為の有無にかかわらず、一切責任を負いません。

この表示に記載されている場合を除き、著作権保有者の書面による事前の承認なく、著作権保有者の名称を、データ ファイルまたは本ソフトウェアの広告、もしくは販売、使用、またはその他の取り扱いの促進に使用することはできないものとします。

Combined PostScript Driver は、Adobe Systems Incorporated および Microsoft Corporation の共同開発プロセスの成果です。

本ソフトウェアの特定の部分は、Media Cybernetics の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Media Cybernetics のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。



本ソフトウェアの特定の部分は、Luigi Rizzo 氏の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Luigi Rizzo 氏のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

特定の部分は、Phil Karn 氏 (karn@ka9q.ampr.org)、Robert Morelos-Zaragoza 氏 (robert@spectra.eng.hawaii.edu)、および Hari Thirumoorthy 氏 (harit@spectra.eng.hawaii.edu) によって 1995 年 8 月に作成されたコードから派生したものです。

ソースおよびバイナリ形式で再頒布および使用することは、改変の有無にかかわらず、以下の条件を満たしている場合に許可されるものとします。

1. ソース コードを再頒布する場合は、上記の著作権表示、この条件の一覧、および以下の免責事項を保持しなければなりません。

2. バイナリ形式で再頒布する場合は、上記の著作権表示、この条件の一覧、および以下の免責事項を、頒布と共に提供されるドキュメントおよびその他の資料において複製しなければなりません。

本ソフトウェアは、著作者によって現状有姿のまま提供され、明示、黙示を問わず、商品性および特定目的に対する適合性の黙示の保証を含みますがこれに限定されない保証については一切拒否されます。著作者は、あらゆる直接損害、間接損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害、または派生的損害 (代替物またはサービスの調達、使用不能、データの損失または利益の逸失、もしくは事業の中断を含みますがこれらに限定されません) に関しては、原因および責任の法理にかかわらず、本ソフトウェアの使用に何らかの形で起因する契約、厳格責任、または不法行為 (過失その他を含みます) の有無を問わず、かかる損害の可能性について知らされていた場合であっても、一切責任を負わないものとします。

本ソフトウェアの特定の部分は、W3C の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に W3C のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

W3C ® ソフトウェアに関する表示およびライセンス
www.w3.org/Consortium/Legal/2002/copyright-software-20021231

この著作物 (含まれているソフトウェア、README などのドキュメント、またはその他の関連物) は、以下のライセンスに基づいて、著作権保有者によって提供されています。お客様 (ライセンシー) は、この著作物を取得、使用、および複製することにより、以下の条件を読んで理解しており、当該条項を遵守することに同意されるものとします。

本ソフトウェアおよびそのドキュメントを、改変の有無にかかわらず、その目的を問わず、複製、改変、および頒布することを無償で許可するものとします。ただし、改変物を含む、本ソフトウェアおよびドキュメント、またはその部分のあらゆる複製に以下の条項を記載することを条件とします。

1. 再頒布物または派生品のユーザーから見える場所に、この表示の全文を記載するものとします。

2. 知的財産権に関する既存の免責事項、表示、または条件がある場合はそれを記載するものとします。存在しない場合は、再頒布コードまたは派生コードの本文内に、W3C ソフトウェアに関する概略表示を記載しなければなりません (ハイパーテキスト形式が推奨されますが、テキスト形式も許容されます)。

3. 日付の変更を含む、ファイルの変更または改変に関する表示を記載するものとします (派生元のコードの場所を示す URL を提示することを推奨します)。

本ソフトウェアおよびドキュメントは現状有姿のまま提供されるものであり、著作権保有者は、明示、黙示を問わず、商品性または特定目的に対する適合性についての保証、あるいは本ソフトウェアまたはドキュメントの使用により第三者の特許、著作権、商標、またはその他の権利を侵害しないことを含みますがこれらに限定されない一切の表明または保証を行いません。

著作権保有者は、本ソフトウェアまたはドキュメントの使用に起因する、あらゆる直接損害、間接損害、特別損害、または派生的損害について、一切責任を負わないものとします。

書面による個別かつ事前の許可なく、本ソフトウェアに関する広告または宣伝において著作権保有者の名称および商標を使用することはできません。本ソフトウェアおよび任意の関連ドキュメントにおける著作権に対する権原は、常に著作権保有者に留まります。

本ソフトウェアの特定の部分は、Sun Microsystems, Inc. の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Sun Microsystems, Inc. のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

Sun RPC は、Sun Microsystems, Inc. の製品であり、この文言がすべてのテープ メディア、およびソフトウェア プログラムの全体または部分の一部として記載されることを条件に、使用に関する制限なく提供されます。ユーザーは、無償で Sun RPC を複製または改変することができますが、ユーザーが開発した製品またはプログラムの一部とする場合を除いて、他者に使用許諾または頒布する権限を有しません。

SUN RPC は、現状有姿のまま、設計、商品性、および特定目的に対する適合性の保証、あるいは取引の過程、使用、または商慣行に起因する保証を含む、何らの保証もない条件で提供されます。

Sun RPC は、Sun Microsystems, Inc. によるサポート、および使用、修正、改変、または機能強化に関する支援の義務がない条件で提供されます。

SUN MICROSYSTEMS, INC. は、SUN RPC またはその一部による、著作権、企業秘密、または特許の侵害に関して一切責任を負わないものとします。

Sun Microsystems, Inc. は、Sun がかかる損害の可能性について知らされていた場合であっても、逸失収益または逸失利益、あるいはその他の特別損害、間接損害、および派生的損害について一切責任を負いません。

Sun Microsystems, Inc.
2550 Garcia Avenue
Mountain View, California 94043

Dolby Laboratories のライセンスに基づいて製造されています。「Dolby」およびダブル D 記号は Dolby Laboratories の商標です。Confidential unpublished works. Copyright 1992-1997 Dolby Laboratories. All rights reserved.

本ソフトウェアの特定の部分は、Andrei Alexandrescu 氏の著作物に一部基づいています。マイクロソフトは、本製品に Andrei Alexandrescu 氏のソフトウェアを含めているため、かかるソフトウェアに付随した以下のテキストを記載することを義務付けられています。

The Loki Library

Copyright © 2001 by Andrei Alexandrescu

このコードは以下の書籍に付属しています。

Alexandrescu, Andrei 著『Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied』Copyright © 2001. Addison-Wesley.

本ソフトウェアを、その目的を問わず、使用、複製、改変、頒布、および販売することを無償で許可するものとします。ただし、あらゆる複製に上記の

# ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象
保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1）保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2）修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3）ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4）中古品でご購入された場合
5）火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
6）お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
7）接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
8）取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
9）合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
10）弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
11）弊社が寿命に達したと判断した場合
12）保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
13）その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理
1）修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2）発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3）本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4）弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責
1）本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2）弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3）本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

**【技術動向、導入事例などについて】**

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。

**【ご注意】**

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。



HDL-ZWEI シリーズ　LAN DISK 管理マニュアル　2015.8.31
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器

| 型　番 | HDL-ZWEIシリーズ |
| --- | --- |
| 保証期間 | ご購入日より 3 年間有効です |

| 販売店 | |
| --- | --- |
| | ご購入日 |
| | 住所・店名　　　　印 |
| | TEL.（　　　）　　　－ |

| ☆お客様 | |
| --- | --- |
| | ふりがな |
| | お名前　　　　様 |
| | TEL.（　　　）　　　－ |
| | 〒□□□-□□□□<br>ご住所 |

**「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。**
記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。
販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

**ご販売店様へ**

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

最新ニュースや電子カタログをスマホで見られる「IOカタログ」アプリ！パソコンからも閲覧OK。
無料ダウンロードはこちら。
http://catalog.iodata.jp/sp/

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

進化する明日へ Continue thinking
株式会社アイ・オー・データ機器
ホームページ　http://www.iodata.jp/